
夢のまた夢

麻実佳香央

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢のまた夢

【Nコード】

N0485H

【作者名】

麻実佳香央

【あらすじ】

少女は逃げていた。何から？夢から。

少女は、男に追いかけていた。

人気のない公園。遠くで鳩がバサバサと飛び立っていく音が聞こえる。

後ろから追いかけてくるのは、背の高い男。不安を覚える少女。その少女と同じスピードで、まるで少女を追いかけるのを楽しんでいるかのように、あとをついてくる。いや、男は、心から少女を追いかけるのを楽しんでいる。

満面の笑みで、離れもしないし追いつきもしない微妙な距離を保ちながらついてくる男を見て、少女は悲鳴をあげた。

と、同時に目を開けた。

しばらくは、胸の動悸がおさまらなかった。そして、ようやく、今のは夢だということに気がついた。

周りを見渡し、自分が、夢とは違う公園でベンチに座っていて、居眠りをしてしまったということを感じ出した少女は、もう帰ろう、とつぶやき、立ち上がり、ふと横を見た。

そこには、夢に出てきたあの男が、にこにこ笑いながら少女を見下ろしていた。

声にならない叫びをあげ、少女は走り出す。それを、男は笑いながら追いかける。少女の夢と同じことが起こった。

必死になって走るあまり、足がもつれた少女は躓き、思いっきり転んだ。

その拍子に、目が開いた。

さっきの夢……。

訳がわからなくなり、少女は顔を覆う。

そばに、足音が聞こえた。男の靴の音！ そう気づいた少女は、

手を外せなくなった。男の手が、肩に乗る。少女の肩を揺らし始めた。

その時、遠くから誰かの声がした。大丈夫、起きて。そう言っているように聞こえた。その声はだんだん大きくなって、少女は完全に目が覚めた。

少女が目を開けると、大丈夫、うなされてたわよ。怖い夢を見たのね。そう言っている、自分の母親の顔が見えた。

少女はほっとする。と同時に、怖くもなった。今の夢はリアルで、現実とほとんど違わなかった。夢と現実を、どうやって見分ければいいの……？

え……？

いつの間にか、心配そうに少女の顔を見ている母親の顔が、ぼやけてきている。まわりの光が、一点に集まって、消え……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0485h/>

夢のまた夢

2010年12月15日15時07分発行